

科目名	精神看護方法 I (対象の理解) Psychiatric Nursing I		担当教員 (研究室番号)	犬飼さゆり (401) 木戸芳史 (非常勤)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	犬飼 : sayuri.inukai@mcn.ac.jp					
履修年次	2年次 後期	科目 区分	専門科目・広域看護学		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1(15)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
											オープンクラス	否
科目 目的	本科目は、精神疾患・精神障がいを抱えながら生きる人々やその家族の体験を理解し、臨床症状、治療法、リハビリや主体性を支援する看護方策について理解することを目的としている。											
ディ プロ マ ホ リ ン グ (DP)	主要なDP	E 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけている。 (知識・理解)										
	関連する DP	D 様々な職種との連携において、看護専門職としての役割を果たすためのコミュニケーション能力を身につけている。 (技能・表現) F 人々の健康的な生活を支援するために、必要な情報を様々な方法により収集する技能を身につけている。 (技能・表現)										
到達 目標	1. 精神障がい者や家族の生活上の諸問題、必要な援助について考察し自分の意見を述べるができる。 2. 精神障がいを抱える人々の体験を理解することができ、リハビリや主体性を支援する看護について考えることができる。 3. 各精神疾患の病態、症状、治療を理解し、必要とされる看護について考えることができる。											
成績評価方法 (基準)	①課題提出20%、②期末試験80% ※出席状況：科目合計点より出席状況に応じて最大10%までの減点をする。											
再試験の有無と 基準等	再試験：有（科目不合格者のうち課題の提出がされており、期末試験を受験した者にもみ再試験を実施） 再試験は筆記試験とし、再試験受験者の成績評価は再試験100%とする											
教科書	・精神看護学Ⅰ 精神保健・多職種をつなぐ。南江堂。2015。 ・精神看護学Ⅱ 臨床で活かすケア。南江堂。2015。											
参考書等	・授業時に随時紹介											
学生の主体性を伸ばす ための教育方法と 学生への期待	精神看護学概論では「私たちの生活とメンタルヘルス」のつながりについて学びました。この精神看護方法Ⅰでは、精神科の治療が必要となっている状態にある方について学びます。精神疾患を抱える人の病態、症状、治療について理解を深め、必要とされる看護について学んでいきましょう。											
備考	・精神看護学概論を習得していないと履修できない。 ・本科目は精神看護学方法Ⅱの先修条件である。											
回	学習項目					学習内容					主担当 教員	授業 方法
1回	オリエンテーション 精神疾患の成り立ち 精神症状のアセスメント					・オリエンテーション（授業予定、評価方法の説明） ・精神疾患の分類について学ぶ ・精神症状のアセスメントについて学ぶ					犬飼	講義
2回	気分障害の理解と看護					・気分障害の病態・症状・治療と看護について学ぶ ・社会復帰への支援、家族支援について学ぶ					木戸	講義
3回	不安障害、適応障害の理解と看護					・不安障害、適応障害の病態・症状・治療と看護について学ぶ ・社会復帰への支援、家族支援について学ぶ					木戸	講義
4回	アディクションの理解と看護					・アディクション（アルコール使用障害、薬物使用障害など）の病態・症状・治療と看護について学ぶ ・社会復帰への支援、家族支援について学ぶ					木戸	講義
5回	発達障害、知的障害の理解と看護					・発達障害、知的障害の病態・症状・治療と看護について学ぶ ・社会復帰への支援、家族支援について学ぶ					犬飼 (学外協力者)	講義
6回	パーソナリティ障害の理解と看護 摂食障害の理解と看護					・パーソナリティ障害、摂食障害の病態・症状・治療と看護について学ぶ ・社会復帰への支援、家族支援について学ぶ					犬飼 (学外協力者)	講義
7回	統合失調症の理解と看護①					・統合失調症の病態、症状、診断方法、主な治療について学ぶ ・急性期にある統合失調症患者への生活と看護について学ぶ					犬飼	講義
8回	統合失調症の理解と看護②					・統合失調症の病態、症状、診断方法、主な治療について学ぶ ・慢性期にある統合失調症患者への生活と看護について学ぶ					犬飼	講義

学 習 課 題

1回目課題（事前）	1回目学習内容について、教科書関連部分（Ⅱ p.1-33）を読んでおく。講義内で課題（10点）あり。資料配布は講義内に行
2回目課題（事前）	2回目学習内容について、教科書関連部分（Ⅱ p.57-64）を読んでおく。
3回目課題（事前）	3回目学習内容について、教科書関連部分（Ⅱ p.64-71）を読んでおく。
4回目課題（事前）	4回目学習内容について、教科書関連部分（Ⅱ p.73-76）を読んでおく。
5回目課題（事前）	5回目学習内容について、教科書関連部分（Ⅱ p.82-83）を読んでおく。
6回目課題（事前）	6回目学習内容について、教科書関連部分（Ⅱ p.72-73、p.76-77）を読んでおく。
7回目課題（事前）	7回目学習内容について、教科書関連部分（Ⅱ p.48-57）を読んでおく。
8回目課題（事前）	8回目学習内容について、教科書関連部分（Ⅱ p.48-57）を読んでおく。講義内で課題（10点）あり。資料配布は講義内に行

実務経験を活かした教育の取組

・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。